

私と天文学 [XI]

与謝野 馨 (衆議院議員)

日本の天文学界の念願であった7メートル級の大形天体望遠鏡をハワイに建設することについて、国内関係者の間で一つのコンセンサスが成立したことは、大変喜ばしいことである。私など素人にとっては、卒直に「世界一」だということがうれしいのである。

国会で予算を審議する我々にとって、この予算総額が数百億円というのは、ずいぶん少ない予算で世界一の物が出来るという意外性がある。最近私自身数字に関してやや混乱があって、どうも生活実感に合わないことが多い。例えば国が借金をしている額は、総トータル 122 兆円で、これは我々の感覚でいえばまことに天文学的数字であって実感が無い。実感が無いからこんな借金はもっとも恐しくないし、もっと借りろという人も出てくる。しかし、この借金のために支払う利息は年に 10 兆円をこえていて、一日に換算すると毎日 250 億円以上の利息を支払っているのである。一日分の利息で世界一の天文台が造れるというのだから、天文台を造るのが安いのか日本の国の借金が多いのかどちらかであろう。

総額数百億円の予算であるから、しかも長期に亘る支出であるから、年平均数十億円位のことであろう。しかし少額とはいえ国のお台所はまことに厳しい折だから、関係者は予算を獲得するのに大いにご苦労されるのではないかと思う。

そこで我々自民党の中でこのプロジェクトを応援して、予算獲得のお手伝いをしようという気運が何人かの議員の間で昨年盛上っている。自民党の議員というとか「ダサイ」イメージがあるが、人材は豊富であり、船田元氏は天体写真の名人だし、保利耕輔氏は天体望遠鏡を自分で組み立てたこともある。推名素夫氏は物理学者だし、私も天文学が好きである。そこで党内で人望のある加藤紘一氏を皆でかついで党内で議員連盟を昨年作った。議員連盟というのは、世間では馴染みの薄い存在であるが、自民党の中には二百数十の議員連盟が

ある。例えば日中交友促進議員連盟は、文字通り日中の友好を促進するためのものであるし、中にはトマト栽培促進議員連盟とか椎茸栽培促進議員連盟とか名前からその活動ぶりが察せられるものもある。私達の議員連盟は「大型天体望遠鏡建設促進議員連盟」と呼ぶことにしている。予算の編成は、普通は事務局・関係者間で決まるのであるが、財布のひもの堅い大蔵省の厚い壁を突破するには、しばしば困難をとまなう。多くの議員連盟は予算編成時期になると、予算獲得のために奔走する。そこで我々の作った議員連盟も天文台建設の予算獲得のためその時期が来たらおおいに活動したいと考えている。人間の思想を変えてきたものは、哲人達の思索にもよるだろうが、やはり何といても自然界での発見であろう。コペルニクスの地動説、ベッセルの恒星間の距離の測定等は、人間の宇宙観を大きく変えたし、コロンブスのアメリカ大陸の発見や、又最近ではアポロから撮った宇宙に浮かぶ地球の写真も大きな影響を人間の思想に与えている。また今日では、遺伝子レベルでの生命の研究がさかんになっているが、これも人間の思想を根底から変えてしまうかもしれない。

大型天体望遠鏡が完成され、今までより多くのまた遠くのもの観測されるようになって、宇宙の摂理が少しでもより明らかになることを大いに期待したいと考えている。

◇ 11月の天文暦 ◇

日	時	記	事
5	8	月	最遠
7	15	立 冬	(太陽黄経 225°)
9	3	望	
11	16	土 星	合
16	16	下 弦	
21	6	月	最近
22	12	小 雪	(太陽黄経 240°)
23	8	朔	
26	3	水 星	東方最大離角
30	17	上 弦	

